

## 薫る風に誘われて、地元の味に舌鼓 ～ひがしどおり新緑そば街道まつり～



毎回楽しみに足を運ぶ方もたくさん



地場野菜や山菜を目当てに来るお客さんも

5月9日から10日にかけて、村内6地区（大利、目名、鹿橋、蒲野沢、砂子又、田屋）を会場に「ひがしどおり新緑そば街道まつり」が開催されました。

爽やかな日差しのもと、開始とともに各会場では地元の方をはじめ村外の方も詰めかけました。賑やかで和やかな雰囲気は、各会場が、普段から地元の皆さんが集まる場所だからかもしれません。

新緑の季節の開催は4回目を数えます。秋の新そばの季節も開催される「そば街道まつり」は、すっかり「常連さん」になっているお客さんもいるのだとか。自分の好みの地区が決まっているお客さんもいるようで、そばの付け合せの漬物も楽しみのようです。

会場でもう一つ好評なのが地場産食材の販売。新鮮な野菜や豊富な山菜、手作りの加工品も東通村の魅力なのかもしれません。

次回のそば街道まつりは10月の新そばの季節。少し先になりませんが、美味しいそばの実を期待しながら、稔りの秋を待ちましょう。

## 平成26年度下北試験場関連公共用施設の整備について

平成26年度下北試験場関連公共用施設整備事業として、尻労漁協フォークリフト、小田野沢漁協燃油補給施設整備事業を実施いたしました。

尻労漁協フォークリフト整備事業は事業主体が尻労漁協、事業期間は、平成26年9月1日から平成26年11月11日までで、2トンディーゼル車1台を導入しました。

事業費は1,188,000円、うち交付金を1,100,000円活用しております。

小田野沢漁協燃油補給施設は事業主体が小田野沢漁協、事業期間は、平成26年10月30日から平成27年3月27日まで、地上式軽油10キロリットルタンク1基、取扱所1棟を整備いたしました。

交付対象となる事業費は28,352,160円、うち交付金を25,700,000円活用しております。

水産業の振興に寄与することが期待されます。



フォークリフト作業風景



漁船への燃料供給イメージ



特定防衛施設調整交付金は、防衛省技術研究本部下北試験場の所在によって国から交付されるものであり、周辺漁協に対する漁業振興対策に役立てています。